

FD

プログラム番号 2701E

大学版反転授業:TBL の手法 ―問題を作ってみよう―

■講師



立川 明(高知大学・総合教育センター・大学教育創造部門・准教授)
高知大学理学部から教育センターに移籍後、大学教育へのアクティブ・ラーニングの導入実践と効果検証を行っている。その成果はTipsにまとめている。また、学内、SPOD内、SPOD外での教員研修にも活かしている。



高畑 貴志(高知学園短期大学・生活科学学科・講師)
担当する情報関連の科目の中にTBLを取り入れて、授業の活性化、学習効果の改善を図っている。また、eラーニングシステムのMoodleを用いてTBLが実施できるよう、システムの拡張を実装した。



濱田 美晴(高知学園短期大学・幼児保育学科・助教)
TBLの仕組みをMoodleで構築し、短期大学の情報及び教職科目の授業に導入している。その教育効果やシステムの概要について、論文や研究会等にて発表を行っている。また、教員対象の学内FD講習会においてTBL講座の講師を務めた。



三島 弘幸(高知学園短期大学・医療衛生学科・教授)
歯学博士。研究テーマ:歯学分野 解剖学、特に口腔領域の硬組織の形態学的・分析学研究。教育研究:TBLに関する研究。

■プログラム概要

- ・TBL等のアクティブ・ラーニングを導入する授業で、初回に行うべき事(ワークショップ)
- ・個別準備確認試験(ワークショップ)
- ・グループ準備確認試験(ワークショップ)
- ～休憩～
- ・問題作成(ワークショップ)
- ・なぜTBLの教育効果は高いのか(レクチャー)
- ・ふりかえり

■主な受講対象

アクティブ・ラーニングを導入したい教員、TBLの問題を作成したい教員、反転授業を導入したい教員、学生の成績を上げたい教員

■本プログラムの到達目標

1. TBLの手順が説明できる
2. TBLの問題を作ることができる
3. TBLの効果を説明できる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月27日(水) 10:00~15:00
会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育3号館 311番教室
定 員 : 40名